

4月号

School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン

Dream通信

2015. 4. No.85



人との出会いを大事に ～チャンスをつかめ～



一緒に作業をすることで仲が深まります

皆さん、こんにちは。日本では桜も満開となり、そろそろ散り始める季節でしょうか。カンボジアでは、マンゴーがおいしい季節になってきました。園内にもマンゴーの木が数十本植わっており、マンゴー泥棒（子ども）との戦いの毎日です。

今回のドリーム通信では、3月末に来園された郁文館夢学園の生徒たちと子どもたちのふれあいの様子、そして高校生が出場した日本語スピーチコンテスト本選の様子について、お伝えいたします。

郁文館中高生との交流

3月22日の日曜日、日本の郁文館夢学園から、中高合わせて24名の生徒と引率の先生たちが来園されました。

毎年3月下旬の日曜日にボランティアの一環で来園されるこの郁文館生たちとの交流は、園の子どもたちにとっては一大イベントです。普段、里親様や支援者様といった年上の方が来園される時とは違い、子どもたちと同年代の中学高校の生徒さんたちは、子どもたちにとっては友達のような感覚です。そのため、普段は緊張して話しかけられなかったり、遠慮して思いっきり遊べない子どもたちも、この時ばかりは遊び、話し、はしゃいでいました。

郁文館生が到着してすぐ、まずは昼食のカレー作りと農作業、掃除のお手伝いです。普段は子どもたちだけでやっている作業も、皆で一緒に行うことで、照れながらも活気のある作業風景となりました。また、慣れない作業に戸惑う生徒たちに子どもたちが作業を教えているところを見て、子どもたちの成長を感じることも出来ました。

その後生徒の作ったカレーを一緒に食べ、午後は夢発表です。生徒側から3名、園からも3名の子どもたちがお互いの夢について発表し合います。何故その夢を追いかけているのか、その夢を叶えることで何を成し遂げるのか、などを自分たちで考え、発表することが出来ました。そして全員でそれぞれの夢を短冊に託し、模造紙に貼り付けて発表しました。皆自分の夢を大き



園の職員に教わりながらのカレー作り



テーブルごとに自己紹介をして交流



それぞれの夢を書き、発表します

な文字でしっかりと書き込み、お互いの夢を確認し合いました。

その後自由交流となり、子どもたちと生徒はいくつかのグループに分かれて思い思いに交流しました。バスケをしたり、サッカーをしたり、お絵かきや折り紙で交流するグループもありました。皆言葉が通じないながらも、長い時間を一緒に過ごし、同じ作業をすることで、お互いに心が通じ合ったような、そんな気持ちになったことと思います。

自由交流が終わったら、お別れ会をして解散です。また来年も来てね！待ってるから！と言った言葉が飛び交い、子どもたちは生徒たちが帰っていくのを見送りました。

年々大きくなっていく子どもたち、生徒と英語で会話する場面を見ることも多くなりました。園の外にいる子は、英語を生で使う機会はほとんどなく、外国の人と知り合う機会もありません。園にいてたくさんのチャンスを得ていることに気づき、そのチャンスを逃すことなく、自ら進んで行動して欲しいと思います。

日本語スピーチコンテスト

3月29日、プノンペンにて日本語スピーチコンテストが開催されました。このスピーチコンテストで優勝すれば、日本で行われる本大会への出場招待、ということで、園からは日本語検定5級を持っている、ロン・ヴィラー、チョム・サルーン、ルン・シムの3名が挑戦しました。スピーチをした経験のない子どもたちですが、まずは題名を自分たちで決め、カンボジア語でスピーチを書き、それを日本語に変え、表現のおかしなところを訂正して、3日間寝る間も惜しんで書き上げました。

そして3月15日に予選会が行われ、3名が参加し、その内1名、チョム・サルーンが見事予選を突破しました。2週間後に控えた本選に向けて、予選会で注意された「元気さ」「パフォーマンス」に注意して、毎日練習を重ねました。

本選ではカンボジア中の高校生の中から予選を勝ち抜いた8名が、それぞれのスピーチを発表しました。サルーンは終始緊張の面持ちでしたが、しっかりとした声で、元気にはきはきと、軽く動きもつけて自分のスピーチを堂々と発表することが出来ました。しかし、結果は残念ながら優勝ならず。3位以内にも入れなかったため、表彰はされませんでした。しかし、スピーチをやり遂げた満足感で、サルーンの様子はすっきりしていました。

今回は残念ながら入賞は出来ませんでしたが、大会に来た他校の生徒たちとも交流をすることが出来、たくさんの刺激を受けることが出来たようです。今後も作文やスピーチの練習を重ねて、来年また挑戦したいと思います。



バレーやバスケなどで一緒に遊びました



200人の観客の前で堂々としたスピーチ



他校の生徒たちとも交流しました